カリキュラム・マップ

社会学部の教育目的

建学の精神“PRO DEO ET PATRIA”（普遍的なる真理を探究し、私たちの世界、社会、隣人のために尽くす）にもとづき、社会学及び関連領域の学修をつうじて、社会の問題を発見し、分析し、提言できる人間を育てる。

学修成果

「学士（社会学）」を授与される学生は、以下のような能力を有する。
1.【発見】社会に生起している問題を見いだし、社会学及び関連領域の視点から整理・把握できる（基礎演習、社会学原論、社会調査法を3学科共通で1年次の必修科目として【発見】への動機付けをおこなう）。（主に「2. 専門性」、その他「3. 自己を理解し発展させる力」「5. 他者を理解する姿勢」と関連）
2.【分析】社会調査によって得られたデータが社会・文化・メディアの各面にどのような意味を持つか考察し説明することができる（社会調査関連科目、2年次・3年次の演習科目を中心に専門科目を履修することで【分析】の方法を学ばせる）。（主に「2. 専門性」、その他「3. 自己を理解し発展させる力」「5. 他者を理解する姿勢」と関連）
3.【提言】学術的な研究成果を実践的な提言へと展開できる（4年次の卒業論文、卒業研究によって研究成果を【提言】へと導く）。（「2. 専門性」「6. 表現力」「9. 社会的実践力」と関連）
4.全学共通科目の系統的な履修により、発見・分析・提言の過程で必要となる基礎的教養、外国語運用能力、情報処理能力を身につけている。（「1. リベラルアーツの素養」「6. 表現力」「8. 国際性」と関連）

※（ ）内は「立教大学学士課程教育の学位授与の方針」に定める学修成果項目との関連を記載。

社会学部国際社会コースのカリキュラム					社会学部の学修成果との関連（◎＝強く関連、 ○＝関連、 △＝やや関連）						
科目名	科目区分	主要授業科目	配当年次	科目の学修成果	①【発見】社会に生起している問題を見いだし、現場の視点を大切にして整理・把握できる。	②【分析】社会調査によって得られたデータが社会・文化・メディアの各面にどのような意味を持つか考察し説明することができる。	③【提言】学問の世界にとどまらず、研究成果を実践的な提言へと展開できる。	④ 全学共通科目の系統的な履修により、発見・分析・提言の過程で必要となる基礎的教養、外国語運用能力、情報処理能力を身につけている。			
必修科目											
社会学部共通科目											
社会学原論1	必修科目	○	1	社会学の基本的な考え方や概念・方法を、社会学がこれまでなにを問うてきたかを検討することから学び、その特徴を理解することができる。	◎	○	△				
社会学原論2	必修科目	○	1	社会学原論1を踏まえて、社会学の個別領域の広がりを理解するとともに、主要な領域についての基礎的知識を身につける。	◎	○	△				
社会調査法1	必修科目	○	1	社会調査の意義と目的、調査方法論、調査倫理、調査の種類、調査の企画から分析までの諸過程などについて、基礎的な理解を身につける。	◎	○	△				
社会調査法2	必修科目	○	1	質的調査と量的調査の企画・設計からデータの収集や整理まで、その基礎的方法論を学び、リサーチ・リテラシーの基礎能力を身につける。	◎	◎	△				
基礎演習	必修科目	○	1	大学と社会学への「導入ゼミ」として、大学での「研究」の姿勢、演習で学ぶ作法、社会学の基礎的な考え方を習得し、それ以降の研究で用いることができる。	◎	△	△				

Reading Sociology in English（社会学科）	必修科目	○	2	英語運用能力を活用しながら、社会学科における基礎的な知識や考え方を学ぶ。英語と日本語のバイリンガルで考え、討論する能力を身につける。	◎	△	△				
Reading Sociology in English（現代文化学科）	必修科目	○	2	英語運用能力を活用しながら、現代文化学科における基礎的な知識や考え方を学ぶ。英語と日本語のバイリンガルで考え、討論する能力を身につける。	◎	△	△				
Reading Sociology in English（メディア社会学科）	必修科目	○	2	英語運用能力を活用しながら、メディア社会学科における基礎的な知識や考え方を学ぶ。英語と日本語のバイリンガルで考え、討論する能力を身につける。	◎	△	△				
専門教育選択科目１											
現代社会論	選択科目	○	1～4	現在の社会学理論で扱われている主要な概念・争点を理解し、それを通して現代日本社会が直面している問題について考察し、意見を述べることができる。	◎	○	○				
自己と他者の社会学	選択科目	○	1～4	「自己」という現象に対する社会学的アプローチを理解し、現代社会における私と他者との関係性をめぐる諸現象について考察することができる。	◎	○	○				
成熟社会論	選択科目	○	1～4	社会の成熟と個人の成熟の視点から、近代産業社会の到達点としての成熟社会の特性と課題、また、主に生涯発達学からみた個人の成熟について考察し、理解することができる。	◎	○	○				
公共性の社会学	選択科目	○	1～4	「公共性」の理論や思想、歴史を学ぶとともに、「公共性」の変容過程を具体的事象を通じて学び、それを通じて自己と「社会」の関係を位置づけ直すことができる。	◎	○	○				
現代社会変動論	選択科目	○	1～4	現代社会の変動を、歴史的でグローバルな視点から大づかみに捉えるとともに、社会を構成する集団・組織・コミュニティの変動について理解することができる。	◎	○	○				
文化の社会理論	選択科目	○	1～4	私たちの日常生活における文化の働きを考え、理解する。	◎	○	○				
都市社会論	選択科目	○	1～4	都市社会学の基礎を学び、ここから近現代社会の諸相について理解することができるようになる。	◎	○	○				
グローバル社会論	選択科目	○	1～4	グローバル・マイグレーションが進展する情況下における都市社会の変動に焦点をあてて、社会学的視点からその意義を理解する。	◎	○	○				
環境社会論	選択科目	○	1～4	自然環境にかかわるテーマを題材に環境社会学の理論を学ぶ。	◎	○	○				
現代文化論	選択科目	○	1～4	現代社会における文化の状況を概観するとともに、それが社会構造と相互に影響し合うありさまを理解する。	◎	○	○				
情報社会論	選択科目	○	1～4	情報関連技術の進展はやむことなく続いており、情報環境は、日々変化している。こうした変容を続けるメディア環境をどうとらえるのか、どのように対応していくべきなのかを学び、私たちの情報環境のあるべき将来像を展望する。	◎	○	○				

メディア社会学	選択科目	○	1～4	社会の中でのメデイアとコミュニケーションに関わるさまざまな現象に関する社会学的な諸理論を理解し、その構造や影響に関して多角的に考察できる。	◎	○	○				
ﾒﾃﾞｨｱ･ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ論	選択科目	○	1～4	人間・社会のメディアとコミュニケーションについて、人文社会科学の多角的視点からアプローチし、メディア・コミュニケーションという観点から現代社会のあり方を批判的に理解して、分析・考察にもとづき、意見を述べることができる。	◎	○	○				
ｼﾞｬｰﾅﾘｽﾞﾑ論	選択科目	○	1～4	ジャーナリズムという、マス・メディアの誕生よりはるかに古くからある、近現代のオルタナティブな知と活動の思想と生態を歴史的、同時代的に検討できる。	◎	○	○				
中級調査法科目											
データ分析法	選択科目	○	2	社会調査によって収集した量的データの分析法の基礎を扱う。2変数間の関連の分析に習熟し、分析結果を的確に整理できる能力を身につける。	◎	◎	○				
質的研究法	選択科目	○	2	社会調査法1・2の成果をもとに、より深く質的研究法の系譜や技法を知り、質的調査をおこなう際の注意点やより実践的な分析手法を身につける。	◎	◎	○				
演習											
専門演習2A（社会学科）	選択科目	○	3	自らの問題関心に従って所属ゼミを選択し、担当教員の専門とする研究テーマへの理解を深めるとともに、ゼミとして研究成果をまとめることによって社会学における研究方法を身につける。	◎	◎	◎				
専門演習2B（社会学科）	選択科目	○	3	自らの問題関心に従って所属ゼミを選択し、担当教員の専門とする研究テーマへの理解を深めるとともに、ゼミとして研究成果をまとめることによって社会学における研究方法を身につける。	◎	◎	◎				
専門演習2A（現代文化学科）	選択科目	○	3	フィールド調査を企画・実施・まとめることによって現代の社会と文化を理解する。	◎	◎	◎				
専門演習2B（現代文化学科）	選択科目	○	3	フィールド調査を企画・実施・まとめることによって現代の社会と文化を理解する。	◎	◎	◎				
専門演習2A（メディア社会学科）	選択科目	○	3	各担当教員の専門とするテーマを研究し、それについての理解を深めるとともに、問いの発見から論証へ至る研究のプロセスを学び、ゼミの共同研究または個人研究として、実施・分析を行い、研究レポートを作成することができる。	◎	◎	◎				
専門演習2B（メディア社会学科）	選択科目	○	3	各担当教員の専門とするテーマを研究し、それについての理解を深めるとともに、問いの発見から論証へ至る研究のプロセスを学び、ゼミの共同研究または個人研究として、実施・分析を行い、研究レポートを作成することができる。	◎	◎	◎				
卒業論文											
卒業論文演習1（社会学科）	選択科目	○	4	社会学科がカバーする領域から専門を定めて演習に所属し、自ら問題意識を掘り下げて選んだテーマについて研究を進めて卒業論文を作成することで、発見・分析・提言の能力を身につける。	◎	◎	◎				

卒業論文演習2（社会学科）	選択科目	○	4	社会学科がカバーする領域から専門を定めて演習に所属し、自ら問題意識を掘り下げて選んだテーマについて研究を進めて卒業論文を作成することで、発見・分析・提言の能力を身につける。	◎	◎	◎				
卒業論文演習1（現代文化学科）	選択科目	○	4	現代文化学科がカバーする領域から専門を定めて演習に所属し、自ら問題意識を掘り下げて選んだテーマについて研究を進めて、卒業論文を作成する。	◎	◎	◎				
卒業論文演習2（現代文化学科）	選択科目	○	4	現代文化学科がカバーする領域から専門を定めて演習に所属し、自ら問題意識を掘り下げて選んだテーマについて研究を進めて、卒業論文を作成する。	◎	◎	◎				
卒業論文演習1（メディア社会学科）	選択科目	○	4	メディア社会学科の研究領域のなかで、一つのテーマを追求し、深く研究を進めて論文を作成することを通じて、問題の発見、分析、提言の能力を身につける。	◎	◎	◎				
卒業論文演習2（メディア社会学科）	選択科目	○	4	メディア社会学科の研究領域のなかで、一つのテーマを追求し、深く研究を進めて論文を作成することを通じて、問題の発見、分析、提言の能力を身につける。	◎	◎	◎				
卒業論文（社会学科）	選択科目	○	4	社会学科がカバーする領域から専門を定めて演習に所属し、自ら問題意識を掘り下げて選んだテーマについて研究を進めて、卒業論文を作成することで、発見・分析・提言の能力を身につける。	◎	◎	◎				
卒業論文（現代文化学科）	選択科目	○	4	現代文化学科がカバーする領域から専門を定めて演習に所属し、自ら問題意識を掘り下げて選んだテーマについて研究を進めて、卒業論文を作成する。	◎	◎	◎				
卒業論文（メディア社会学科）	選択科目	○	4	メディア社会学科の研究領域のなかで、一つのテーマを追求し、深く研究を進めて論文を作成することを通じて、問題の発見、分析、提言の能力を身につける。	◎	◎	◎				
卒業研究											
卒業研究1（社会学科）	選択科目	○	4	演習に所属しない者が、課題レポートを作成することで社会学科がカバーする5領域の知見を広く修得し、社会に出るにふさわしい見識と発見・分析・提言の能力を身につける。	◎	◎	◎				
卒業研究2（社会学科）	選択科目	○	4	演習に所属しない者が、課題レポートを作成することで社会学科がカバーする5領域の知見を広く修得し、社会に出るにふさわしい見識と発見・分析・提言の能力を身につける。	◎	◎	◎				
卒業研究1（現代文化学科）	選択科目	○	4	演習に所属しないが、現代文化学科がカバーする4領域を広く修得することによって、社会に出るにふさわしい見識を獲得する。	◎	◎	◎				
卒業研究2（現代文化学科）	選択科目	○	4	演習に所属しないが、現代文化学科がカバーする4領域を広く修得することによって、社会に出るにふさわしい見識を獲得する。	◎	◎	◎				
卒業研究1（メディア社会学科）	選択科目	○	4	メディア社会学専門科目の4領域から広く学んだうえで、それぞれの領域から出された課題に取り組み、レポートを作成する。それを通じて、問題の発見、分析、提言の能力を身につける。	◎	◎	◎				

卒業研究2（メディア社会学科）	選択科目	○	4	メディア社会学専門科目の4領域から広く学んだうえで、それぞれの領域から出された課題に取り組み、レポートを作成する。それを通じて、問題の発見、分析、提言の能力を身につける。	◎	◎	◎				
専門教育選択科目２　国際社会コース指定選択科目											
社会学部共通科目(領域横断科目)											
グローバリゼーション論	選択科目	○	2～4	グローバル化のもとでの国際的な社会認識を高め、諸外国の社会事象や世界的な社会問題を理解する。	◎	○	○				
消費社会論	選択科目	○	2～4	現代消費社会の基本的な仕組みを理解し、消費社会の豊かさの背後に存在するさまざまな社会問題、消費社会に特徴的な社会現象を認識する。	◎	○	○				
流行論	選択科目	○	2～4	現代日本における行動文化、に着目し、それらの多面的な考察を通じて「流行の社会学」を理解し、説明することができる。	◎	○	○				
比較社会・文化論	選択科目	○	2～4	複数の社会・文化の比較を通して歴史性と多様性について考える思考方法を身につけ、それを通じて、自国の制度・システムや文化を相対化し、再評価をすることができる。	◎	○	○				
開発・発展の社会学	選択科目	○	2～4	人間ひとりひとりの潜在能力を生かし、持続可能で公正な社会をめざす「開発」のあり方を考察することができる。	◎	○	○				
「人間の安全保障」とNGO	選択科目	○	2～4	「人間の安全保障」という概念を通じて、様々な地球規模の課題と、それに対するNGO・市民社会の活動を理解する。	◎	○	○				
紛争と和解・共生	選択科目	○	2～4	紛争の原因や平和の条件、和解のための試みを多角的に学び、平和に対する視座を養う。	◎	○	○				
職業選択・キャリア形成論	選択科目	○	3～4	大学卒業後の職業選択および初期キャリア形成についての学問的知見を理解するとともに、自らのキャリア形成に向けた主体的な意識を高める。	◎	◎	○				
ダイバーシティとキャリア	選択科目	○	2～4	現代社会の中で自分らしく生きること・働くことを実現するために、「ダイバーシティ」の視点を踏まえて主体的にキャリアデザインをする知識・意欲・方法を身につける。	◎	○	○				
現代社会研究A	選択科目	○	2～4	現代社会および社会学理論の最前線のトピックを学び、現代社会に対する考察を深める。	◎	○	○				
現代社会研究B	選択科目	○	2～4	現代社会および社会学理論の最前線のトピックを学び、現代社会に対する考察を深める。	◎	○	○				
現代社会研究C	選択科目	○	2～4	現代社会および社会学理論の最前線のトピックを学び、現代社会に対する考察を深める。	◎	○	○				
現代社会研究D	選択科目	○	2～4	現代社会および社会学理論の最前線のトピックを学び、現代社会に対する考察を深める。	◎	○	○				

現代社会研究E	選択科目	○	2～4	現代社会および社会学理論の最前線のトピックを学び、現代社会に対する考察を深める。	◎	○	○				
現代社会研究F	選択科目	○	2～4	現代社会および社会学理論の最前線のトピックを学び、現代社会に対する考察を深める。	◎	○	○				
Sociological Studies A	選択科目	○	2～4	現代社会および社会学理論の最前線のトピックを英語で学び、現代社会に対する考察を深める。	◎	○	○				
Sociological Studies B	選択科目	○	2～4	現代社会および社会学理論の最前線のトピックを英語で学び、現代社会に対する考察を深める。	◎	○	○				
Sociological Studies C	選択科目	○	2～4	現代社会および社会学理論の最前線のトピックを英語で学び、現代社会に対する考察を深める。	◎	○	○				
Sociological Studies D	選択科目	○	2～4	現代社会および社会学理論の最前線のトピックを英語で学び、現代社会に対する考察を深める。	◎	○	○				
Global Study Program(Sydney)	選択科目	○	1～3	語学力を伸ばしながら、異文化適応能力やグローバルマインドを育む。	◎	○	○				
Principles of Sociology	選択科目	○	2～4	社会学という学問とはなにかを学び、社会学の基本的な概念・方法、その特徴を理解する独自の思考法を身につけることができる。	◎	○	△				
Global City	選択科目	○	2～4	グローバル都市の社会的特徴を捉える理論的視点を学ぶことを通して、自分が生きている現代社会のさまざまな問題や矛盾を批判的に考える力を養うことができる。	◎	○	○				
International Relations	選択科目	○	2～4	法学と政治学の基礎を学び、国際政治における力関係の変化とその影響について深く考える力を身につけることができる。	◎	○	◎				
Civil Society Organization(NGO/NPO) and Corporate Social Responsibilities	選択科目	○	2～4	市民社会という視点に立ち、NGO/NPOの重要性およびその役割を理解し、現代社会における企業が利益追求のほかに追うべき社会的責任について批判的に考える力を養うことができる。	○	○	◎				
Global Sociology	選択科目	○	2～4	グローバル社会学についての基本的な理論と概念を学び、国境を超えるヒト・モノ・資本・情報の動き、関係、そして葛藤などを批判的に考察する力を身につけることができる。	◎	△	○				
Gender/Minority studies	選択科目	○	2～4	ジェンダー・スタディーズ、マイノリティ・スタディーズの基礎を学び、現代社会の様々な問題をグローバルな視点から深く考える力を身につけることができる。	◎	△	◎				
UN and International Organizations	選択科目	○	2～4	グローバル社会学の立場から、国連に代表される機関がいかなる役割を国際社会のなかで果たしているかについて深く知ることで、国際社会で国民国家の枠を超え活躍する力を養うことができる。	◎	△	◎				

Area Studies – Africa, Islam and Asia	選択科目	○	2～4	社会科学の観点から、アフリカやイスラム、アジア社会など非西洋社会の特徴を理解し、様々な社会問題や課題について深く考える力を養うことができる。	◎	△	◎				
社会学部共通科目(隣接領域科目)											
国際関係論	選択科目	○	1～4	グローバル化した世界の仕組みに目を向け、国際関係の現状と背景、地球が直面する課題を理解し、説明することができる。	◎	○	○				
文化人類学	選択科目	○	1～4	文化人類学の基礎的な考え方と理論を、社会学との関連の中で理解し、思考の幅を広げる。	◎	○	○				
社会学部共通科目(社会調査科目)											
社会統計学	選択科目	○	2～4	推測統計学の基本的な考え方を身につけるとともに、社会学などを学び、研究していく過程で求められる統計的手法を理解し、分析に用いることができる。	△	◎	△				
多変量解析	選択科目	○	3～4	統計的な社会調査から得られたデータに用いられる多変量解析の手法について学び、併せてソフトウェアを用いた分析の実践スキルを身につける。	△	◎	△				
社会調査演習	選択科目	○	3～4	科学的な手続きに基づいた社会調査の実施と、得られたデータを統計的に分析する能力を身につける。質問紙調査を行い、今まで学んだ社会調査法についての知識・技術に習熟し、社会調査の実践的能力を身につける。	○	◎	○				
社会学科科目											
少子・高齢社会論	選択科目	○	2～4	人口の少子・高齢化の歴史的背景、社会に及ぼす影響、また、個人にとって高齢期まで生きることの現実を理解し、少子・高齢化社会の意味を多角的に考察することができる。	○	◎	○				
共生社会論	選択科目	○	2～4	「障害をもつ人びとと社会」に焦点をあてて「共生社会」とは何かについて考察し、理解することができる。	○	◎	○				
公共政策とガバナンス	選択科目	○	2～4	現在、社会保障給付費は増大し、社会保障改革が大きな課題になっているが、その政策、制度について理解することができる。	○	◎	○				
家族社会学	選択科目	○	2～4	家族社会学の基礎的知識を習得するとともに、日本の戦後の家族の変動を社会学的観点から理解することができる。	○	◎	○				
労働社会学	選択科目	○	2～4	20世紀末以降仕事や職業の世界に起きているドラマティックな諸変化を理解し、21世紀型雇用・労働システムや働き方についての展望を身につける。	○	◎	○				
逸脱の社会学	選択科目	○	2～4	逸脱現象に対するさまざまな社会学的アプローチを知り、具体的な逸脱現象をそうした諸理論によって理解、分析する方法を身につける。	○	◎	○				
社会階層論	選択科目	○	2～4	社会階層や階層化、格差、流動化等の基本的概念を習得し、階層に関連する諸現象の考察を通じて、現代社会の特性を理解することができる。	○	○	○				

社会運動論	選択科目	○	2～4	社会変動の原因でもあり結果でもある社会運動について理解するとともに、現代社会における社会運動の特質について社会学的に把握する能力を身につける。	○	○	◎				
平等と公正	選択科目	○	2～4	支配－被支配構造の再生産と社会変革の可能性に関して社会学的な観点から理解することができる。	○	◎	○				
NPO/NGOの社会学	選択科目	○	2～4	非営利組織およびこれに関連する概念を習得し、非営利組織の社会的役割と実際について理解することができる。	○	◎	◎				
社会人口学	選択科目	○	2～4	人口諸問題の調査研究に必要な基本的な用語ならびに概念を把握し、事象の意味を理解するための統計資料の活用ならびにデータ分析の方法を身につける。	○	○	○				
現代文化学科科目											
国際社会学	選択科目	○	2～4	グローバル化する社会を読み解く分析枠組みとして社会学諸理論を学び、様々な事象を分析する力が養われる。	◎	○	○				
消費文化論	選択科目	○	2～4	現代社会における文化の状況、およびそれと現代社会の関わりを、特に現代文化の発信源ともいうべき物質文化や消費文化を中心に分析する。	○	○	○				
民族文化誌	選択科目	○	2～4	いくつかの民族集団の生活の特徴などを、文化に関する社会理論とともに学び、多様な民族の文化のありかたを理解する。	◎	○	○				
文化変容論	選択科目	○	2～4	観光／移住の観点から、グローバル化の時代における文化の変容と生成のダイナミズムを理解する。	◎	○	○				
エスニシティ論	選択科目	○	2～4	エスニシティの概念は多義的であることを知り、主に現代日本社会における外国人をめぐる諸現象やその歴史から、エスニシティの社会的意味を考え理解する。	◎	○	○				
環境教育論	選択科目	○	2～4	「環境教育」概念の変化とその現代的な意味を問いながら、いま求められている環境教育の基本的な枠組みについて考える。	◎	○	○				
エスノグラフィー論	選択科目	○	2～4	多文化化が進行する地域現場に実際に身をおいて、自らの眼前に拡がるその実態をどのように捉えるのか、その方法としての質的調査法を身につける。	○	◎	○				
グローバル都市論	選択科目	○	2～4	グローバリゼーションする近年の世界的動向を知り、我々が生きている日本･東京をはじめグローバル都市への理解を深める。	◎	○	○				
都市マイノリティ論	選択科目	○	2～4	日本社会における都市マイノリティに関する基本的な知識を身につけるとともに、彼ら･彼女らと「われわれ」との関係について理解を深める。	◎	○	○				
マイグレーション論	選択科目	○	2～4	グローバライズする近年の世界的動向を知り、それに伴うマイグレーションの現状について理解する。	◎	○	○				

多文化の社会理論	選択科目	○	2～4	文化や社会集団間の「差異」と「境界」についての理論的検討をとおして、異文化理解／多文化共生の意味を問いなおす。	◎	○	○				
アートの社会学	選択科目	○	2～4	文化的グローバリゼーションの文脈で、地球文化システムの可能性を、文化芸術･コンテンツ文化の観点から探る。	◎	○	○				
ポピュラーカルチャー論	選択科目	○	2～4	現代日本における大衆文化、若者文化、対抗文化の多面的な考察を通じて「ポップカルチャーの社会学」を理解する。	◎	○	○				
メディア社会学科科目											
ニュースの社会学1(デジタル時代のジャーナリズム)	選択科目	○	2～4	ジャーナリズム論の原則、そして社会学的ニュース論について学び、インターネットやSNSが普及したデ ジタル時代におけるジャーナリズムのあり方についての議論に触れ、ジャーナリズムや世論現象について批判的に考察することができる。	◎	○	○				
若者とメディア	選択科目	○	2～4	現代社会、特にインターネットにおける若者のメディア接触や情報行動について、その特徴や問題点を理解し説明することができる。	◎	○	○				
情報法	選択科目	○	2～4	日本のメディアや情報をめぐる法と倫理の動向と枠組み、問題点と課題を表現の自由の観点から、批判的に検証し、あるべき姿について、自らの意見を述べることができる。	◎	○	○				
ニュースの社会学2(オルタナティブ・ジャーナリズム)	選択科目	○	2～4	新時代を迎えたと言われるオルタナティブメディアについて、歴史や可能性・限界性を理解し、説明することができる。	◎	○	○				
リスク・コミュニケーション論	選択科目	○	2～4	リアル社会とネット社会の両方におけるリスクコミュニケーションについての基礎的な枠組みを理解し、説明することができる。	◎	○	○				
グローバルコミュニケーション論	選択科目	○	2～4	情報通信技術の発達は、情報を瞬時に全世界に伝えることを可能にした。グローバル化社会におけるメディアやコミュニケーションに関わる現象について、批判的に考察し、意見を述べることができる。	◎	○	○				
比較ジャーナリズム史	選択科目	○	2～4	日本のマスメディアの活動とその関連事項を、諸外国との、歴史、制度、理論、現状などの比較を通じて考察し、メディアリテラシーを獲得する。	◎	○	○				
オーディエンス論	選択科目	○	2～4	メディアのオーディエンスを捉えるための理論や学説について理解し、現代におけるその特徴や関係性について、考察することが出来る。	◎	○	○				
出版産業論	選択科目	○	2～4	出版および出版界の現状がどのようになっているのかを理解し、説明することができる。	◎	○	○				
視覚文化論	選択科目	○	2～4	現代の変容する視覚環境の技術的・修辞的な状況のなかで、報道・芸術・記録などの写真がいかなる影響を受けているか。歴史と現在のさまざまな事例を使いながら具体的に考察できる。	◎	○	○				

メディアとスポーツ	選択科目	○	2～4	メディアとスポーツの関係について、オリンピック、ワールドカップといったビッグイベントの仕組み、競技ごとの番組制作などを中心に現状と課題を理解し、説明することができる。	◎	○	○				
メディア・環境・コミュニティ	選択科目	○	2～4	テレビなどのメディア利用の現状に目を向けることで、ジェンダー論を含む情報化社会を正しく認識し、メディアを使いこなす意義について考察し、意見を述べることができる。	◎	○	○				
専門教育選択科目３											
Introduction to Sociology											
Introduction to Sociology A	選択科目	○	2～4	英語運用能力を活用しながら、社会に生起している問題を発見し、分析・理解するための能力を身につけることを目標とする。	△	○	△				
Introduction to Sociology B	選択科目	○	2～4	英語運用能力を活用しながら、社会に生起している問題を発見し、分析・理解するための能力を身につけることを目標とする。	△	○	△				
Introduction to Sociology C	選択科目	○	2～4	英語運用能力を活用しながら、社会に生起している問題を発見し、分析・理解するための能力を身につけることを目標とする。	△	○	△				
Introducion to Sociology D	選択科目	○	2～4	英語運用能力を活用しながら、社会に生起している問題を発見し、分析・理解するための能力を身につけることを目標とする。	△	○	△				
Introducion to Sociology E	選択科目	○	2～4	英語運用能力を活用しながら、社会に生起している問題を発見し、分析・理解するための能力を身につけることを目標とする。	△	○	△				
Lecture & Discussion											
Lecture & Discussion on Gender A	選択科目	○	2～4	英語運用能力を活用して社会学的な思考法による社会の諸相をより深く分析・理解するための能力を身につける。	○	○	△				
Lecture & Discussion on Gender B	選択科目	○	2～4	英語運用能力を活用して社会学的な思考法による社会の諸相をより深く分析・理解するための能力を身につける。	○	○	△				
Lecture & Discussion on Gender C	選択科目	○	2～4	英語運用能力を活用して社会学的な思考法による社会の諸相をより深く分析・理解するための能力を身につける。	○	○	△				
Lecture & Discussion on Globalization A	選択科目	○	2～4	英語運用能力を活用して社会学的な思考法による社会の諸相をより深く分析・理解するための能力を身につける。	○	○	△				
Lecture & Discussion on Globalization B	選択科目	○	2～4	英語運用能力を活用して社会学的な思考法による社会の諸相をより深く分析・理解するための能力を身につける。	○	○	△				
Lecture & Discussion on Culture A	選択科目	○	2～4	英語運用能力を活用して社会学的な思考法による社会の諸相をより深く分析・理解するための能力を身につける。	○	○	△				

Lecture & Discussion on Culture B	選択科目	○	2～4	英語運用能力を活用して社会学的な思考法による社会の諸相をより深く分析・理解するための能力を身につける。	○	○	△				
Lecture & Discussion on Culture C	選択科目	○	2～4	英語運用能力を活用して社会学的な思考法による社会の諸相をより深く分析・理解するための能力を身につける。	○	○	△				
Lecture & Discussion on Culture D	選択科目	○	2～4	英語運用能力を活用して社会学的な思考法による社会の諸相をより深く分析・理解するための能力を身につける。	○	○	△				
Lecture & Discussion on Media and Communication A	選択科目	○	2～4	英語運用能力を活用して社会学的な思考法による社会の諸相をより深く分析・理解するための能力を身につける。	○	○	△				
Lecture & Discussion on Media and Communication B	選択科目	○	2～4	英語運用能力を活用して社会学的な思考法による社会の諸相をより深く分析・理解するための能力を身につける。	○	○	△				
Lecture & Discussion on Media and Communication C	選択科目	○	2～4	英語運用能力を活用して社会学的な思考法による社会の諸相をより深く分析・理解するための能力を身につける。	○	○	△				
Lecture & Discussion on Media and Communication D	選択科目	○	2～4	英語運用能力を活用して社会学的な思考法による社会の諸相をより深く分析・理解するための能力を身につける。	○	○	△				
Writing Academic English											
Writing Academic English A	選択科目	○	2～4	英語による社会学の専門論文を作成する能力を養う。	△	○	△				
Writing Academic English B	選択科目	○	2～4	英語による社会学の専門論文を作成する能力を養う。	△	○	△				
Writing Academic English C	選択科目	○	2～4	英語による社会学の専門論文を作成する能力を養う。	△	○	△				
Writing Academic English D	選択科目	○	2～4	英語による社会学の専門論文を作成する能力を養う。	△	○	△				
Writing Academic English E	選択科目	○	2～4	英語による社会学の専門論文を作成する能力を養う。	△	○	△				
自由科目											
コース指定自由科目											
社会学部共通科目（領域横断科目）											
コミュニケーション論	自由科目		2～4	コミュニケーションの理論をフィールド調査における事例をもとに考察し、理解することができる。	◎	○	○				

ジェンダーの社会学	自由科目		2～4	ジェンダーという視点から「社会」や「私」を「見る」ことによって、その相貌はどのように変容するのかを感じ、考察し、理解することができる。	◎	○	○				
宗教社会学	自由科目		2～4	宗教現象を客観的に見つめる視点を養うとともに現代宗教を社会学的に考察する。	◎	○	○				
地域社会学	自由科目		2～4	急速なグローバル化に伴い、地域社会で発生している様々な社会問題を取り上げ、その背景にある社会的構造や社会関係の分析を通して、問題解決のための可能性について多角的に考察し、理解することができる。	◎	○	○				
現代社会と政策	自由科目		2～4	現代の社会生活とそれを様々な側面で支える諸政策の関連性、課題等について理解することができる。	◎	○	○				
文化の社会学	自由科目		2～4	現代社会における文化と社会心理の関わりについて、社会学的な概念を用いて具体的な事例を検討することを通して、理解することができる。	◎	○	○				
都市とメディア	自由科目		2～4	都市とメディアの密接な関係を、《歴史的時間軸》と《同時代的空間軸》という交差の中で考察し理解する。	◎	○	○				
文化表象論	自由科目		2～4	文学理論や記号論など、文化現象を捉えるための基礎的理論を学ぶ。	◎	○	○				
生命・身体の社会学	自由科目		2～4	生命と身体をめぐる問題系について理解し、私たち自身の生命と身体、そして自己のテクノロジーのありようを見据える視点について理解することができる。	◎	○	○				
エスノメソドロジー	自由科目		2～4	社会おける行為の理解とその方法を考察するエスノメソドロジーについて、その基礎と意義を学び、自ら活用することができる。	○	◎	○				
教育社会学	自由科目		2～4	教育社会学の基礎的な理論を学ぶことを通して、教育の特質や、教育を通した人間形成のありかたを理解する。	◎	○	○				
青年期の社会学	自由科目		2～4	「大人」と「子ども」の中間期にあたる青年期に焦点を当てて、その特質を社会学の観点から理解する。	◎	○	○				
社会学古典文献講読	自由科目		2～4	社会学の古典文献を少人数で購読し、理解と洞察を深める。	◎	○	○				
災害の社会学	自由科目		2～4	災害とその社会的影響に関する研究について、とくに、被災地域を対象とした復興研究に関して学習し、研究上の課題や問題点について考察する。	◎	○	○				
社会学部共通科目（社会調査系科目）											
フィールドスタディーズ	自由科目		2～4	多様な社会の「現場」に出向き、調査を行うことを通してフィールドワークの基礎を学ぶとともに、社会の実態に触れる。	◎	◎	○				
ソーシャルデータサイエンス系科目											

プログラミング基礎実習B	自由科目		1～4	Pythonによるプログラミングの初歩から基礎を身につけ、「自然言語処理」による「テキストデータの計量的分析」の手法を学び、実際に分析し、結果を考察し解釈できる。	◎	◎	○				
プログラミング応用実習B	自由科目		2～4	調査で収集した各種統計資料や、アンケートで得られたデータを適切に図表化し、さらに地域分布の特徴を可視化するGISによる分析方法を習得し、研究に用いることができる。	△	◎	△				
ソーシャルデータサイエンス概論	自由科目		1～4	社会全体のデジタル化、データ化、人工知能開発の爆発的に進展を踏まえ、国内外の膨大なデータの活用事例、大規模シミュレーションなどの講義から、ソーシャルデータサイエンス領域の基礎となる概念、知識を身につける。	◎	○	○				
ソーシャルデータサイエンス実習1B	自由科目		2～4	大規模な実際の小売購買履歴データを用い、Pythonを用いた基本的分析手法を学ぶ。さらに、グループ単位で、分析テーマを決め、ビッグデータ分析を行い、成果発表を行うことで、協創力、問題発見力、提言力を身につける。	◎	◎	◎				
ソーシャルデータサイエンス1基礎	自由科目		2～4	データの読み方や扱い方を中心に学び、社会におけるデータの利活用や、データリテラシー、注意事項の基本的内容を修得する。	◎	◎	○				
ソーシャルデータサイエンス1発展	自由科目		2～4	アルゴリズムやデータ利活用の実践を中心に学び、社会におけるデータの利活用や、データリテラシー、注意事項の発展的内容を修得する。	◎	◎	○				
ソーシャルデータサイエンス2基礎	自由科目		2～4	統計学と機械学習を中心に学び、人工知能、機械学習やディープラーニング、およびそれらを支える統計数理の基本的内容を修得する。	◎	◎	○				
ソーシャルデータサイエンス2発展	自由科目		2～4	ディープラーニングの手法やその社会実装を中心に学び、人工知能、機械学習やディープラーニング、およびそれらを支える統計数理の発展的内容を修得する。	◎	◎	○				
社会学部共通科目（隣接領域科目）											
現代史	自由科目		1～4	現代史に関する知識を取得し、理解を深める。	◎	○	○				
政治学A（政治学理論）	自由科目		1～4	近代以降の政治における原理的諸問題を理解し、それらに関して批判的に考察する思考力を身につける。	◎	○	○				
政治学B（現代政治）	自由科目		1～4	現代政治について、理論的、実証的に検証する思考力を身につける。	◎	○	○				
現代経済	自由科目		1～4	どんな世界に生きているか自分なりに理解できる基礎知識・判断力を修得し、世界で起きていることの骨格・背景を考えることができる。	◎	○	○				
社会心理学	自由科目		1～4	社会心理学の基礎的な考え方と理論を、社会学との関連の中で理解し、思考の幅を広げる。	◎	○	○				
社会言語学	自由科目		1～4	社会言語学の基礎的な考え方と理論を、社会学との関連の中で理解し、思考の幅を広げる。	◎	○	○				

科学技術論	自由科目		1～4	科学技術と私たちの日常生活がどう関わっているかを理解し、共存していくためにはどう行動すべきかを考える。	◎	○	○				
数理科学	自由科目		1～4	数理科学の基礎を学ぶことを通して、数学的思考法・論理的思考法を養う。	◎	○	○				
国際政治と紛争	自由科目		1～4	国際政治と紛争研究に関する研究内容と、それらに関する諸課題について理解を深め、考察する能力を身につける。	◎	○	○				
国際政治	自由科目		1～4	国際政治についての事象を多角的に理解し、各種の国際的な課題について、その解決方法を自ら考えるための基礎知識と能力を身につけることができる。	◎	○	○				
社会認識と哲学	自由科目		1～4	現代社会における社会の認識や、社会認識の時代的変化、哲学研究に関して、研究内容や概念について習得し、理解を深める。	◎	○	○				
情報社会と倫理	自由科目		1～4	誤った情報や不適切な情報が流れがちな情報社会において、持つべき倫理的規範について理解し、情報を正しく見極めるだけでなく、適切な情報配信を行うための基礎知識と能力を身につけることができる。	◎	○	○				
その他											
自主講座	自由科目			既設の科目では追究できない特定のテーマに関心を持つ、社会学部の学生からの申請により開講される。教員選定や実現のための細目などについては、学生と学科教員の間で協議する。開講が認められた後は、申請学生以外も履修可能となる。	◎	○	○				
コース指定自由科目（学科科目）											
社会学理論	自由科目		2～4	社会学の理論的パースペクティヴによって社会がどのように記述・分析されるのかを学び、受講者一人一人が自身の社会への対し方を考える能力を身につける。	○	◎	○				
社会学史	自由科目		2～4	古典期から現代に至る社会学の学説の検討を通して、社会学の基本的な発想法やその背後にある思想・理念について理解することができる。	○	○	○				
計量社会学	自由科目		2～4	計量社会学の基礎から応用までを幅広く学び、計量分析を用いた研究の具体例に触れて、分析結果の読みとり方を身につける。	○	◎	○				
シミュレーションの社会学	自由科目		2～4	「シミュレーション」が社会や文化の形成にどのように関わっているか、また、社会を理解する上でどのように役立つのかを、理解することができる。	○	◎	○				
データ対話型分析法	自由科目		2～4	インタビューや観察記録など質的データを用いて、データに密着した分析から人間行動の説明モデルを生成する方法とその理論的根拠を理解することができる。	○	◎	○				
アイデンティティ論	自由科目		2～4	様々な文化現象をアイデンティティという概念から読み解き、現代社会における「自己」と「他者」の関係性について理解することができる。	○	◎	○				

相互行為論	自由科目		2～4	人々の相互行為の関係の総和としての「社会」という考え方を理解し、受講者自身が自分の身のまわりの相互行為を社会学的に考察できるようにする。	○	◎	○				
差別と偏見の社会学	自由科目		2～4	差別と偏見に対するさまざまな社会学的アプローチを理解し、現代の日本社会における具体的な差別現象を読み解くための知識と方法を身につける。	○	◎	○				
セクシュアリティの社会学	自由科目		2～4	人間がさまざまなセクシュアリティに開かれた性的存在であることを理解し、現代日本社会におけるセクシュアリティをめぐる現象を読み解くための知識と方法を身につける。	◎	◎	○				
ライフコース論	自由科目		2～4	ライフコース研究の検討を通じて、個人の人生のプロセスが社会のありようとどのように関わりあっているのかを理解することができる。	○	◎	○				
保健・医療の社会学	自由科目		2～4	近現代社会における生老病死と健康の問題を、医療社会学的アプローチを用いて検討し、各自が自分の生活や経験に即したかたちで理解することができる。	○	◎	○				
福祉の社会学	自由科目		2～4	私たちの生活を取り巻く身近な課題が、福祉社会学的観点からみてどのような社会構造・制度の中で生じているかを理解し、多角的に考えていくための基礎知識と視座を身につける。	○	◎	○				
社会問題の社会学	自由科目		2～4	「社会問題」とは私たちの眼差しの産物であることを理解し、その観点から思考できる能力を身につける。	◎	◎	◎				
歴史社会学	自由科目		2～4	さまざまな歴史資料や時系列データを歴史社会学的観点から整理・検討するなかで、歴史社会学的な方法論と想像力を身につける。	○	○	○				
都市社会構造論	自由科目		2～4	現代都市の空間構造と社会構造に対する視点を理解し、現代都市の特質を考察する能力を養う。	◎	○	○				
都市コミュニティ論	自由科目		2～4	多様な主体を包摂しつつも、それが必ずしも連接しない地域コミュニティを公共空間として再編成する可能性について考える。	◎	○	○				
まちづくり論	自由科目		2～4	現代日本のまちづくりや都市計画の基本的なしくみや課題をフィールド調査等を通して理解するとともに、具体の地域でまちづくり提案を作成する。	◎	○	◎				
都市生活誌	自由科目		2～4	都市で展開される多様な生活あり方を、歴史的視点もふまえて理解する。	◎	○	○				
都市文化論	自由科目		2～4	現代都市における文化現象を捉える理論を学ぶとともに、その現状と特質を理解する。	◎	◎	○				
環境と文化	自由科目		2～4	自然環境の問題、現状・理念・政策の動向と問題点について学ぶ。	◎	○	○				
くらしの環境史	自由科目		2～4	人間と自然のかかわりについて、恵みと災いなど様々な視点から問い直す。	◎	○	○				

環境の思想	自由科目		2～4	生態系と人の関わりがどのように語られてきたかを知り、自らの「今、ここ」をとりまく生態系と人のかかわりを多角的に把握する。	◎	○	○				
自然環境保全論	自由科目		2～4	地球環境問題の現状、生態系のなりたち、具体的な事例に基づく問題解決への取り組みを学び、環境問題の解決のための道すじを考える。	○	○	◎				
環境政策論	自由科目		2～4	環境問題の解決における公共部門の役割やその限界、新しい試みなどに関する理解を深める。	◎	○	◎				
環境と人類	自由科目		2～4	科学的に理解するための基礎と、現代の環境問題に取り組むための応用の両方から、人間が環境とどのようにして関わりあっているかを理解する。	◎	○	○				
パフォーマンス文化論	自由科目		2～4	日常生活から舞台の上まで、様々なものを含むパフォーマンスの諸相と、それを成立させる文化について考え、感じ、実践を通してその力を理解する。	○	○	◎				
セラピー文化論	自由科目		2～4	心理学ブームについて批判的に捉え直し、現代人の精神状況について社会学的に考察する。	◎	○	○				
写真文化論	自由科目		2～4	第二次大戦前後から今日に至るまでの内外の写真作品を鑑賞することにより、写真それ自体のみならず、現代という時代、写真家という存在についての認識を深める。※旧文化認識論の内容です。	◎	○	○				
生活文化論	自由科目		2～4	文明史的規模での大きな転換点にある日本の社会と日本人の生活を、鳥の眼（マクロの眼）と虫の眼（ミクロの眼）でもって理解する。	◎	◎	○				
メディア・テクノロジー・社会	自由科目		2～4	「メディアとは何か」についての理解を深めることにより、受講者各自が日々接している各メディアについて、理論的に考察する能力を身につける。	◎	○	○				
コミュニケーション政策論	自由科目		2～4	日、米およびヨーロッパ地域におけるコミュニケーション政策の形成過程を素材にして、コミュニケーション政策の理論的枠組みと現状を理解し、説明することができる。	◎	○	○				
災害情報論	自由科目		2～4	災害情報をもとに、テレビ・ラジオ・新聞・インターネットなど、進化するメディアの実践的な側面を探りながら、メディア技術の歴史や今日の状況を理解し、説明することができる。	◎	○	○				
メディア産業論	自由科目		2～4	変革期にあるメディア産業について受講生自ら考え、メディアの意義について考え、意見を述べることができる。	◎	○	○				
メディア史	自由科目		2～4	マス・メディアを中心としたメディアの歴史を学び、現代のメディアの構造と機能についてより深く理解し、説明することができる。	◎	○	○				
ニュースの社会学3(デモクラシーとジャーナリズム)	自由科目		2～4	近現代ジャーナリズムはデモクラシーと切っても切れない密接な関係で発展してきたが、両者の関係について深く考察できる。	◎	○	○				
ニュースの社会学4(経済・金融とジャーナリズム)	自由科目		2～4	現代ジャーナリズムの解読に最も困難が伴うもののひとつである、高度に専門化した経済・金融ニュースの諸相を理解できる。	○	◎	○				

ニュースの社会学5(ことばとジャーナリズム)	自由科目		2～4	日常的なトークに始まり、書かれたドキュメントや映像などにいたる、具体的な場面で用いられている言説を経験的に分析する手法について学び、自ら使用することができる。	○	◎	○				
ニュースの社会学6(ドキュメンタリーとジャーナリズム)	自由科目		2～4	テレビメディアにおけるリテラシーの重要性を理解し、実践的に試行すると同時に、プロパガンダの実相についても体験的に理解し、説明することができる。	△	○	◎				
映像メディア論	自由科目		2～4	放送や映画を中心とした映像メディアの特質を学ぶとともに、映像メディアの現状と今後について考察することができる。	◎	○	○				
広告・PR論	自由科目		2～4	現代社会ともメディアとも不可分な関係にある「広告」の理論と実践の考察を通して、学問と実社会との橋渡しができる能力を養う。	◎	○	○				
音楽社会学	自由科目		2～4	具体的な音楽実践や、あるいはそうした実践をめぐる言説の分析を通じて、当の音楽が鳴り響いている社会の特性を考察することができる。	◎	○	○				
メディア素養論	自由科目		2～4	デジタル時代のメディアリテラシーについて、ふだんの生活におけるメディアとの付き合い方をふり返りながら実践的に学び、今日の様々なメディア活動についてクリティカルな観点から分析を行うことができる。	○	◎	○				
世論調査論	自由科目		1～4	世論調査を題材として、社会調査に必要な統計学的知識を習得し、様々な世論調査を批判的に読解することができる。	○	◎	○				
今日のメディアとジャーナリズム	自由科目		2～4	企業など第一線で活躍する講師による講義からその現場での経験を理解するとともに、実際の問題に対して自ら判断をする力を身につける。	○	○	○				
メディア社会特殊講義（1）	自由科目		2～4	メディアと社会に関する現代的テーマを取り上げ、そのテーマについての知識を獲得するとともに、最新の研究の動向を理解し、説明することができる。	◎	○	○				
メディア社会特殊講義（2）	自由科目		2～4	メディアと社会に関する現代的テーマを取り上げ、そのテーマについての知識を獲得するとともに、最新の研究の動向を理解し、説明することができる。	◎	○	○				
メディア社会特殊講義（3）	自由科目		2～4	メディアと社会に関する現代的テーマを取り上げ、そのテーマについての知識を獲得するとともに、最新の研究の動向を理解し、説明することができる。	◎	○	○				
メディア社会特殊講義（4）	自由科目		2～4	メディアと社会に関する現代的テーマを取り上げ、そのテーマについての知識を獲得するとともに、最新の研究の動向を理解し、説明することができる。	◎	○	○				
メディア社会特殊講義（5）	自由科目		2～4	メディアと社会に関する現代的テーマを取り上げ、そのテーマについての知識を獲得するとともに、最新の研究の動向を理解し、説明することができる。	◎	○	○				
メディア社会特殊講義（6）	自由科目		2～4	メディアと社会に関する現代的テーマを取り上げ、そのテーマについての知識を獲得するとともに、最新の研究の動向を理解し、説明することができる。	◎	○	○				

メディア・調査実習入門1～4	自由科目		2～4	マスメディア、ネットメディアで、情報、テキストを適切に作成、発信し、分析する基本的なスキルを身につける。	◎	◎	◎				
メディア・調査実習応用1～6	自由科目		2～4	マスメディア、ネットメディアで、情報、テキストを適切に作成、発信し、分析する発展的なスキルを身につける。	◎	◎	◎				
メディア・調査実習入門5～6	自由科目		2～4	マスメディア、ネットメディアで、情報、テキストを適切に作成、発信し、分析する基本的なスキルを身につける。	◎	◎	◎				
メディアインターンシップ入門	自由科目		2～4	特にメディア企業のインターンについて、マナー講座、メディアで働く方々の講演・意見交換などで理解を深める。また、メディア企業の方々と学生によるシンポジウムを開催し、より実践的なプログラムとする。	◎	○	○				
戦後の日本社会に影響を与えた「古典」を読む	自由科目		1～4	戦後日本社会で広く読まれ、その時代の人々に影響を与えてきた「古典」を読み、「社会」の見方を学ぶとともに、本の読み方や選び方を知るきっかけとする。	◎	○	○				
寄附講座	自由科目		2～4	提供企業等の寄付により開設する講座において、企業等第一線で活躍する講師による講義からその現場での経験を理解するとともに、実際の問題に対して自ら判断をする力を身につける。	○	○	○				
自由科目（隣接科目）											
哲学概論1	自由科目		1～4	西洋哲学に即して哲学的思考について理解し説明することができる。	◎	○	○				
哲学概論2	自由科目		1～4	東洋哲学に即して哲学的思考について理解し説明することができる。	◎	○	○				
宗教思想1	自由科目		1～4	現在のわれわれの知の枠組みを決定した近代の西欧思想に触れ，その中で宗教の問題がどのような位置にあるかを考えること。	◎	○	○				
宗教思想2	自由科目		1～4	受講者が現代の宗教思想に自分で触れ，考えるようになること。	◎	○	○				
世界史概論1	自由科目		1～4	海域・海洋世界の諸テーマに関して通史的にその概要を学ぶ。	◎	○	○				
世界史概論2	自由科目		1～4	大陸世界の諸テーマに関して、通史的にその概要を学ぶ。	◎	○	○				
日本史概論1	自由科目		1～4	前近代史の諸テーマについて、通史的にその概要を学ぶ。	◎	○	○				

日本史概論2	自由科目		1～4	近現代史の諸テーマについて、通史的にその概要を学ぶ。	◎	○	○				
世界史	自由科目		1～4	世界史上の諸テーマについて、通史的に理解を深める。	◎	○	○				
日本史	自由科目		1～4	日本史上の諸テーマについて、通史的に理解を深める。	◎	○	○				
地理学概説1	自由科目		1～4	地理学の基礎を学び、人間の生活の多様性を理解できるようになる。	◎	○	○				
地理学概説2	自由科目		1～4	地理学の基礎を学び、人間の生活の多様性を理解できるようになる。	◎	○	○				
地誌学1	自由科目		1～4	具体的な事例に基づいて地域と生活の密接な関係を理解できるようになる。	◎	○	○				
地誌学2	自由科目		1～4	具体的な事例に基づいて地域と生活の密接な関係を理解できるようになる。	◎	○	○				
心理学1	自由科目		1～4	実証科学としての心理学の基本的枠組みのもと,「心」の様々な側面について理解することにより，自分や他者の「心」の働きを考える手がかりを得る。	◎	○	○				
心理学2	自由科目		1～4	実証科学としての心理学の基本的枠組みのもと,「心」の様々な側面について理解することにより，自分や他者の「心」の働きを考える手がかりを得る。	◎	○	○				
国際政治	自由科目		1～4	国際政治についての事象を多角的に理解し、各種の国際的な課題について、その解決方法を自ら考えるための基礎知識と能力を身につけることができる。	◎	○	○				